

*主のことばには権威と力がある

福音書をまとめたルカは、この箇所で、主イエス様の権威ある御ことばが、どれほど力強く働くのかを記している。主イエス様はことばで悪霊や熱病を叱りつけられた。ところが、このような箇所を読むと、現代に生きる私たちがどのように受け止めればいいのか？戸惑うことがあるだろう。

*悪霊(サタン)と病気の関係

一番目の戸惑いは、病気と悪霊の関係をどのように理解したらよいのかということだ。病気の原因は悪霊の働きなのだろうか？

今日の箇所を読むと、時に病には目に見えない霊的な影響があると見ることが出来る。少なくとも、主のご支配の下にあることが分かる。それゆえ、私たちは、まことの医者である主イエス様に祈り求めなければならない。そして、歴史的に教会はそのように病と向き合ってきた。私たちは、病の時に、病院や医者や薬のことにすぐ関心が行ってしまい易い。しかし、何よりも、自分自身で、主なる神様の御前で静まって祈ることや、教会の兄弟姉妹や、牧師や役員などに連絡して、祈ってもらうことを大切にしていきたい。また積極的に友の病のために祈る者とされたい。(ヤコブ 5章)

*今も癒しの奇跡は起きるのか？

二番目の戸惑いは、今日では癒しの奇跡は起きないのだろうかということだ。

もちろん、今も、主イエス・キリストは生きて働いている。権威ある主の御ことばが発せられるならば、主はどのような病いからも悪霊の煩いからも解放してくださる。悪霊も病も主の支配の中にある。主の奇蹟は今もあるだろう。実際に、主の不思議な癒しを体験された方もおられる。では、今、まさに、新型コロナウイルスで世界中の人が恐れ、苦しんでいるのに、世界中で祈り求めているのに、主なる神様は何もしてくれないのだろうか。私たちの祈りは届かないのだろうか。

結論から言えば、病を癒す権威と力は、主なる神様の御手の中に握られている。今日の箇所では、主イエス様が、その事を神の御子として、この地上に来られて、私たちの目の前で、見せてくださった。

*主の御ことばに驚く日々

今日も、私たちは、主の御ことばの権威を認め、またその御ことばによって平安や慰めを頂く者でありたい。私たちは、権威ある主の御ことばに、全き信頼をおいて、心から謙って、主の御前に出たい。子ども☆チャペルの暗唱聖句は「人々はその教えに驚いた。そのことばに権威があったからである。」(ルカ 4:32)である。「驚いた」とは英語の聖書で“amazed”(アメイズド)と訳しているものがある。まさに「びっくり仰天する」という意味だ。皆さんは、主の御ことばに、また主の成される素晴らしい御業に、ワクワクしたり、感激したり、安らぎを得たりしているだろうか？主の御ことばをじっくりと味わうなら御ことばは御霊と共に働いて、私たちに驚くばかりの恵みを与えて下さる。主のことばは、移ろい行く人の言葉ではない。朝ごとに、主の御ことばに驚き、感動を覚えながら出発する日々でありたい。